

# 買い物アンケートの結果と

## 市内買い物支援

### サービスの紹介！

市民のみなさんの買い物環境や要望などを整理・分析しながら、今後の施策を考えるため「買い物アンケート」を実施しました。少子高齢化や過疎化が進むなかで、65歳以上の世帯を対象に調査を行ったものです。そのアンケート結果と、独自に買い物客へ地域に根ざした取り組みをしている地元商店などの市内買い物支援サービスを紹介します。

## 買い物アンケート調査結果

今年2月18日から3月18日にかけて『買い物アンケート』を実施しました。調査対象は、市内の65歳以上の世帯から無作為抽出で選んだ350世帯。

調査員による聞き取り調査で実施した結果と今後の方向性をお知らせします。

### アンケートの男女比率

男性 27.7%      女性 72.3%

### 日常生活での車やバイクの運転状況

運転する 45%      運転しない 55%

### 同居している家族の運転状況

運転する 27%      運転しない 18%  
同居家族がない 55%

### 毎日の生活に必要な物の買い物状況

自分、配偶者、家族 85.1%  
別居する親族や友人 7.7%  
宅配事業者等 7.2%

### 買い物をする場所

市内でする 72.9%      市外でする 27.1%  
市外で買い物をするのは小城市や武雄市、江北町

### 日常的な買い物の手段

自動車、バイク、自転車 53.3%  
徒歩 29.3%      公共交通機関 8.8%  
家族の送迎 5.7%

### 宅配の利用状況

利用している 23.1%      利用していない 76.9%

### 日常の買い物で不便を感じているか

不便と感じる 33.1%      不便と感じない 66.9%

### 不便と感じる人の理由

店まで遠い 37.5%  
重たいものが持てないため一度に少ししか買物ができない 17.6%  
交通が不便 17%  
身体的理由で買い物が困難 9.7%

### 今の買い物環境の改善の希望

今のままで良い 54.1%  
家の近くにスーパー等の誘致 22%  
移動販売車による巡回販売 10.4%  
ふれあいバスの充実 6%  
宅配サービス 4.7%

## 今後の方向性

これからの多久に必要なお店は北多久町と東多久町の人が「大型ショッピングセンター」を望む割合が高く、南多久町、多久町、西多久町では「宅配サービスなど高齢化に対応できるスーパー」を望む割合が最も高くなりました。11月には多久ショッピングセンター「コーリー」跡に新しい商業施設の出店が計画されています。このことで、買い物環境の改善になりますが、まだ買い物をする場所が遠く、買い物に困難や不便を感じている方が多数おられます。

今後、ますます少子高齢化や核家族化が進むなか、将来をみすえた仕組みづくりや取り組みが必要です。市は、買い物アンケートの結果を踏まえ、商工会や事業者のみなさんと今後研究・検討していきます。

■問い合わせ 商工観光課 商工観光係 ☎75-2117

